

単元名:こんな部屋に住みたい									
科目名	中国語	作成日	-		作成者	プロジェクトメンバー			
学年／年次	-	クラス人数	-		使用教科書名(対応)	-			
話題分野	住まい	言語レベル	2		必要時間数	5～6時間			
I 単元目標					3×3+3				
自分が暮らしたいと思う「理想の部屋」について、理由を含めてスカイプを使って中国の交流相手と発表しあい、住まいに対する日中の考え方の共通点や相違点に気づき、その異同を分析することを通じて相互理解を深めることができる。				言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
			わかる						
			できる						
			つながる						
言語領域		文化領域		グローバル社会領域					
◆姉妹校の高校生に自分の「理想の部屋」の絵を見せながら紹介することができる。 ◆姉妹校の高校生の発表を聞き取ることができる。 ◆お互いに説明した「理想の部屋」について、質問があれば積極的に尋ねることができる。		◆間取りや好まれる(好まれない)住環境について、日中の共通点・相違点を比較考察することができる。 ◆地域の環境と住宅の関係について、日中双方で工夫されていることなどを比較考察することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。		◆スカイプ(映像つき)で交流することができる。(情報活用) ◆ディスカッションで自分の意見を理由も含めて積極的に述べることができる。(高度思考、協働) ◆日中の住宅事情が社会体制と産業構造と深く関わっており、互いに異なっていることを踏まえてディスカッションをすることができる。(知識理解) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。					
コミュニケーション能力指標	2-a. 部屋の様子(日当たりがいい、南向き、散らかっているなど)を、口頭で説明できる。 2-b. 家具の配置(何がどこにあるのかなど)について、言ったり、聞いて理解できる。 2-c. 家の周りの環境(近くにある建物、静か／にぎやか、駅から近いなど)について、言ったり尋ねたりできる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。								
II 評価									
学習を助けるための評価 (形成的評価)				目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)					
◆置きたい家具や物、その位置を示した「理想の部屋」の図を作成する。(表記の正しさ) ◆作成した「理想の部屋」を見せながら置きたい家具や物、その位置を口頭で説明する。(発音の正しさ、表現の適切さ)				◆「理想の部屋」について発表する。(発音の正確さ、表現の適切さ、発表態度、発表方法の工夫等) ◆住んでみたい部屋を選び、投票した理由を発表する。(部屋の特徴や良さが言えたか、発音や表現がわかりやすいか、自分なりの視点を持っているか等)					

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
◆何種類か異なる部屋の絵を用意し、その絵に描かれているものを口頭で説明する練習をペアで行う。【2-a】 ◆自分の書いた「理想の部屋」の図を見せながら、置きたい家具や物、その位置を口頭でプレゼンテーションするためのメモを作る。【2-b】 ◆家の周りの環境について図を描きながらペアで相手に説明する。説明された方はまた別のの人に伝言ゲームの要領で伝えていく。情報の伝達の正確さをゲームとして楽しみながら競う。【2-c】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	<場面状況> 家庭科の授業で「住まい」について学んだL高校の2年生は、中国語選択クラスの授業で「理想の部屋」と題するプロジェクトワークを行うことにした。 <活動の流れ> 将来一人暮らしをしたらどんな部屋を借りるか、借りる時に重視する点や部屋の中にごく家電や家具について、グループ内で日本語で発表しあう。それを中国語に直し、スカイプ(映像つき)を使って、交流校の山西省太原の高校生に見せながら紹介する。太原の高校生にも同様に書いて発表してもらう。 スカイプでの交流を終えた後、紹介されたいくつかの部屋のうち、互いに相手国で暮らすことになったと想定して、住んでみたいと思った部屋を選び、選んだ理由を明らかにして投票する。日中で投票結果を交換し、住いに対する日中の考え方の共通点や相違点について考察し、グループ内で母語でディスカッションする。 ヒント☞ ◆Skype(映像つき)を使っても交流が難しい場合は文通又はメールで行なう。	
<使用教材・教具> PC、インターネット、Skype		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<表現> 这是我将来想住的,一个理想的房间。这是一套两居室。／这个房间朝阳。／周围的环境很好,比如离车站、超市不太远,但很安静,院子里可以养花。／虽然不太大,但是很舒适。／房租很便宜,公寓楼的水电费也不太贵。／房间里有一张书桌、一把椅子、一张床、一个书架和一个衣柜。还要电脑、空调、电视机、DVD机、组合音响等。 <表現のポイント> 動詞“是”、助詞“的”、指示代詞“这儿”“那儿”、動詞“有”“没有”、名量詞、接統詞“和”、方位詞、動詞“在”、介詞“朝”、“比如”、介詞“离”、接統詞“但”、助動詞“可以”、“虽然～,但是～。”	各部屋の名称や部屋の中にあるもの(家、房子、房间、屋子、客厅、卧室、厨房、饭厅、书房、卫生间、厕所、洗手间、浴室、洗澡间、阳台、窗户、窗帘、走廊、门、屋顶、楼梯、台阶、院子、衣柜、书架、床、书桌、电脑、录像机、DVD机、音像制品、组合音响、桌子、椅子、凳子、电视、电视柜、沙发、餐桌、洗碗机、热水器、冰箱、微波炉、烤箱、橱柜、抽屉、垃圾桶、吸尘器、灯、吊灯、台灯、水龙头、暖气、空调、被褥、被子、褥子、毛毯、枕头など)、公寓、宿舍、独栋房子、方位詞(上边、里面、对面など)、量詞(间、栋、楼、层、张、台、把など)、周囲の環境を表す表現(朝南、安静、舒适、便宜、离公园很近など)、家賃や広さを表す単位(房租、平方米、面积など)	<事象> ◆好まれる(好まれない)住環境 ◆部屋の使い方や部屋での過ごし方 ◆家具など部屋の中にあるものとその配置 ◆地域の環境と住宅の関係、広さと家賃の相場 ◆住宅事情と不動産産業 <事象のポイント> ◆間取りや好まれる(好まれない)住環境について、日中の共通点・相違点を比較考察する。 ◆地域の環境と住宅の関係について、日中双方で工夫されていることなどを比較考察する。 ◆中国の住宅事情が社会体制と産業構造の変化と深く関係していて、賃貸住宅や持ち家の考え方、利用システムが日本と大きく異なる。そのことを踏まえつつ、日中の高校生同士で話しあう必要がある。
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
交流校の高校生		家庭科、情報